

経営管理論Ⅱの講義総括と試験形式 (2011.1.20)

1 授業内容

第1回 (9月23日) 授業の目的と方法

シラバス配布 資料配布

日本経済新聞 (2010421) 「環境事業、企業の7割で引き上げ意欲」

日本経済新聞 (2010810) 「食品事業、自然保護を強化」

日本経済新聞 (201062) 「太陽光発電、新築の過半数に」

第2回 (9月30日) CSR経営の方法

テキスト序章 PPT (CSRと企業成長) HPに掲載、資料配布

清水建設のCSRレポートの一部配布

第3回 (10月7日) テキスト序章 キーワードチェック

プリントなし DVD (母さんたちの希望の森～ケニアの事例～)

感想文提出「環境保全とビジネスはどのようにして両立するか」

第4回 (10月14日) 6チーム分け

リーダーとサブリーダーを決定

資料配布 (トヨタ、日本損害保険、ソトコト)

課題「近大商店街を環境社会配慮型にする取組について」、回収、発表

第5回 (10月21日) CSR貢献企業の成功要因

プリント (未来工業、村田製作所) ビデオ (未来工業の年休140日)

講演会案内

第6回 (10月28日) 講演会

吉崎広江社長

第7回 (11月11日)

各チームの研究テーマの決定と発表 (板書)

第8回 (11月18日)

エンロン事件 (レジュメとビデオ)

練習問題 (宿題)

第9回 (11月25日)

キリンビールの省エネルギー

テキストの練習問題解答 (1～4章)

第10回 (12月2日) CSR経営 (1)

関電会長 (木川田一隆) 東芝会長 (土光敏夫) のDVD

キリンの省エネルギー政策の強みについて

第11回 (12月9日) CSR経営 (2)

日本のCSRのフロンティア 大原孫三郎と武藤山治 (DVD)

テキスト8章のチェック

第12回(12月16日)

共同研究発表(3, 4, 5, 6班)

第13回(1月13日)

共同研究発表(1, 2班)

プリント配布(日本経済新聞2011. 1.11)「ムダが成長の糧」

第14回 試験範囲と形式 共同研究発表の成績公表

第15回 定期試験(1月27日 5限 535教室)

2. 試験の形式

試験範囲

授業の全範囲(配布したプリントも含む)とテキスト(序、1、2、3、4、5、8、9、結章)

試験形式

空所補充(キーワード)

15問(30点) 選択ではない

記述式

2問(30点) キーワードを2個必ず使用して回答する

共同研究の成績(30点満点)について

1班(19点) 2班(20点) 3班(21点) 4班(24点)

5班(20点) 6班(24点)

各班の名簿はOHCで確認のこと。